



野口 昌作 議員

専決処分の違法性は？

町長

法には反していない

【野口昌】 町長は補正予算の専決処分を毎年3月31日付けで行っている。

予算の提案権は町長、議決権は議会の権限であり、議会を軽視した町長の専決処分は、違法性が高いのではないかと。

【町長】 現在行っている補正予算に関する専決が地方自治法に反しているとは考えていない。

【野口昌】 議会が専決処分の研修に招いた講師は、本町の専決処分の内容説明が理解できないと言っておられた。また、県内では専決処分がない町村もある。本町が際立って多いが、改めないか。

【町長】 予算編成の方向を改善することは必要だと考えている。ほかの自治体の状況も確認し、改善できる部分は取り組みたい。

【野口昌】 人間ドック助成の希望が多く、抽選になった。来年度は改善することだが方法は。

【町長】 財政面、医療機関の受け入れ枠の関係で定員を設けた。来年度は抽選に漏れた人

町長

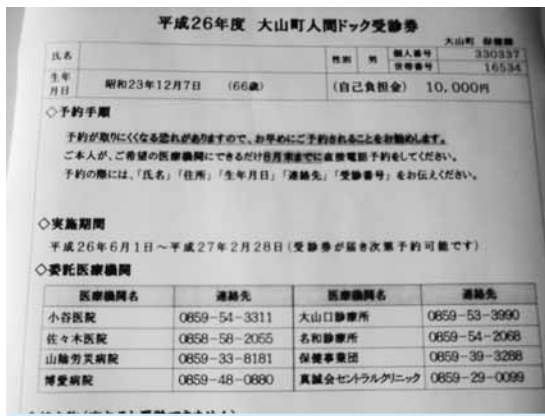
保健指導に生かす

を優先する。

【野口昌】 ドックの結果が有効に生かされていない。保健師から直接渡し、指導しないか。

【町長】 将来大きな疾患の心配があると判断した人には、直接面話し、保健指導を行う。

人間ドック 結果の活用は？



人間ドックの結果を生かして

オリジナルな 婚姻届・出生届は？

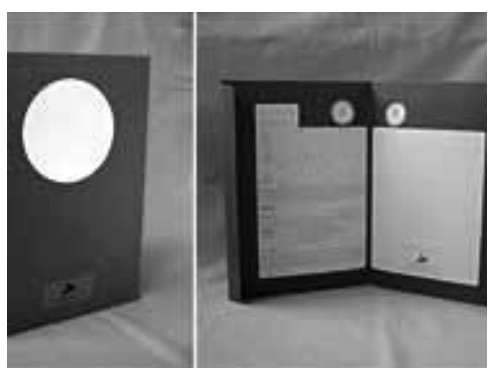
町長

提案は実施困難

【野口昌】 北海道東川町では、オリジナルな婚姻届・出生届を作っている。婚姻届は内容を台紙に複写し、お互いの写真やパートナーにメッセージを書くなど工夫し、若者に思い出と夢を与えている。また、出生届は親からのメッセージや記念の足型など二生の宝物となっている。

作る考えはないか。

【町長】 届出書を受理後複写し届出人に返却する行為は、推奨されるものではない。提案は実施困難である。



東川町の婚姻届